

「感染予防」 上岡

このところ毎日新型コロナウイルスの感染者数がテレビの速報などでも伝えられ、皆さんも日々感染予防に努められていると思います。感染予防に手洗いがとても重要とよく聞きますが、しっかり洗うにはハッピーバースデーの歌2回分くらいの長さ(20~30秒)がいいそうです。私も心の中で歌いながら実際手洗いをしてみましたが、想像以上の長さでした！そして一度始めると、手洗い時には心の中でハミングせずにはいられなくなりますよ(^_^) それと、除菌対策で見落としがちなのが、生活に欠かせなくなっているスマートフォンや、PCのキーボードやマウスなのだそうです。精密機器なので、くれぐれも取り扱いに注意しつつ、直接スプレーするのではなく、清潔な布に除菌液を塗布し優しく拭くのがいいそうです。出来る範囲の対策をして、元気に乗り越えたいですね。一日も早く収束しますように…



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【ブロックチェーン】

取引の履歴を記録して分散的にネットワークに保存する仕組みのこと。「分散型台帳」とも呼ばれる。情報をかたまりでまとめたものを鎖のようにつないでいく構造からこの名が付いた。データの破壊や改ざんが理論上不可能なことから、仮想通貨をはじめとしてさまざまなプロダクトの開発が進められてきた。しかし一方では事業化への課題の多さに「ブロックチェーン疲れ」という言葉も生み出され、今後の動向が注目されている。

知っとこ！「税務のマメ知識」

【2020年度の税制改正はこうなる】

2020年度の税制改正の概要が昨年末に決まりました。「オープンイノベーション(企業が研究開発を行う際に組織の枠組みを越え、広く知識・技術の結集を図ること)の促進などを促す措置」「連結納税の抜本的な見直し」「全てのひとり親家庭の子どもに対する公平な税制の実現」「NISA(少額投資非課税)制度の見直し」などが行われます。具体的には個人所得課税については、未婚のひとり親に寡婦(夫のいない女性)寡夫(妻のいない男性)控除が適用されます。男性のひとり親と女性のひとり親について不公平を解消する目的で所得制限(500万円以下)を統一したり、子どもがいる寡婦と寡夫の控除額(35万円)も同額となります。NISA制度では20年間、積み立て可能な「つみたてNI



SA)が5年延長されるため、2023年までに始めれば20年間の積立期間が確保されます。また法人課税については、一定の要件を満たしたベンチャー企業に対して大企業は1億円以上、中小企業は1000万円以上の出資を行った場合、その25%に相当する額が所得控除できます。この他にも持続的な経済成長の実現に向けた決定事項はたくさんありますが、この度の新型コロナウイルスによる世界規模の景気低迷により、税制に限らず経済活性化の一助となるような新たな策が臨機応変に講じられるかもしれません。

今を生きる

先人の言葉

きぬいとう美とはちがう

日本の女流書家である堀桂琴(ほりけいきん)の言葉。新刊できちんと整えられた書棚はきれいだ。一方、読み尽されてポロポロになった背表紙が並ぶ書棚は美しい。

トレンドを斬る!

バードウォッチングや天体観測などかつて男性の需要が多かった
双眼鏡が今、女性に大人気の様です。コンサートや演劇に加え、

漫画やアニメを原作とした 2.5 次元の舞台にも女性ファンが急増し、チケットが入手困難なミュージカルなども双眼鏡を駆使して楽しんでます。劇場やスタジアムで演奏者や俳優、演出の細部を遠くからでも余すところなく目に焼き付けるために、舞台鑑賞に適したモデルが人気です。「好き」を追求する女性のニーズはさらに増えそうです。



365 日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【今、決断という経験を積むとき】

460 年前のちょうど今頃、日本の歴史を動かすドラマチックな合戦が起きました。織田信長が、兵力差約 10 倍の今川軍を奇襲戦法で打ち破った桶狭間の戦いです。勝利の決め手は信長が見せた驚異の決断力でしょう。リーダーの



最大の仕事は「決断」に尽きるといわれます。優れたリーダーほど決断が早いともいわれます。三英傑の信長、秀吉、家康は三者三様でも、決断力に長けている点は共通しています。経営者もしかり。経営は決断の連続です。商売をしていれば決断を迫られる場面が多々あります。決断ひとつが会社の将来を左右しかねませんし、タイミングを逃すと決断の意味がなくなってしまうこともあります。新型コロナウイルスの影響で、前例のない選択決断を求められている経営者が少なくないようです。熊本市長がツイートした「コロナのバカ——つ! (泣)」も他人事ではありません。今までは過去の事例を参考に、その延長線上で考える

こともできましたが、前例通りにやっても間に合わない事態が起こることもあります。そんな状況で思うのは「日頃から何を大事にしているか」が問われているのではないかと思います。商売に限らずとも、何かを決めるときは自分なりの大事にしているものがあるでしょう。カッコよく言えば哲学です。素早く決断できる人は、哲学を持ってゆるぎない気持ちで物事に取り組んでいるのだろうと想像します。決断には正解がありません。これでいいのか悪いのか、いくら考えても分かりません。であればシンプルに、自分の哲学を最優先して、最速で決断するのはトップの役割といえそうです。商売で、人生で、あなたが大事にしている哲学は何ですか? 旅人が北極星をガイドにして道なき道を行くように、自分の哲学を北極星にして「哲学に合う・合わない」とシンプルに判断する。この訓練を積むことで、いざというときにも素早い決断ができるのではないかと思います。大きな決断の経験は人を成長させます。人間万事塞翁が馬。今、ひとつの決断で逆境が好機となるかもしれません。



トナリの

本棚



【教場】

警察学校のクラスを意味する教場。適性のない人間をふるい落とす場所として描かれる教場に、異色の教官・風間公親が君臨する。生徒たちは厳しい訓練とミスができない極限状態の中で卒業できるのか? 警察官を見る目が変わる一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎

